

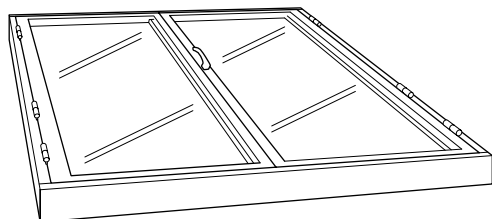
レノホンダアウトライン 高断熱木製サッシ テラスドア/フレンチドア (LDFO/LDF2o)

取付施工 & メンテナンスマニュアル

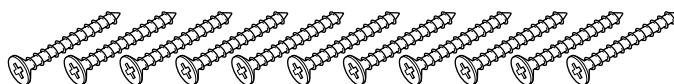
このたびは『レノホンダアウトライン 高断熱木製サッシ』をご採用いただきまして誠にありがとうございます。本書をよくお読みになり確実に施工いただきますようお願い申し上げます。

構成部材一覧

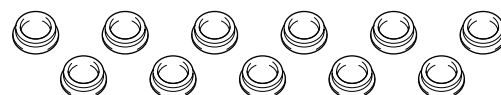
ドア本体／ドア枠：一式



本体取付ビス (φ5×65mm)：8～11 本



ホールキャップ：8～11 個



取り付けに必要な工具など

電動ドライバー



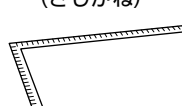
六角レンチまたは六角ビット (10mm)



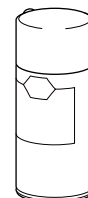
バール



スケール等
(さしがね)



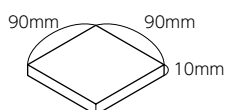
グリス
スプレー



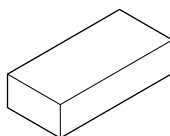
シリコン
スプレー



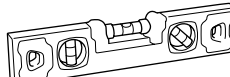
スペーサー：2 枚



倒れ止め部材 (木片)：2 個



水平器



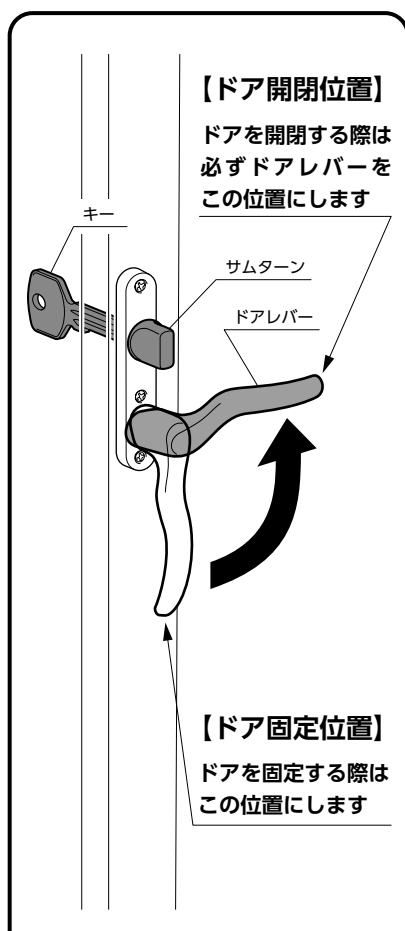
本マニュアルについて

- ・本マニュアルの **△注意** マークで示す事項を守らないで作業した場合、作業者がケガをしたり、製品や建物を破損するおそれがあります。必ず指示に従って作業してください。
- ・本マニュアル中のイラストはフレンチドア（左側主可動）を示します。また、紙面の都合上簡略化して記載しているため、実際の様子と異なる場合があります。

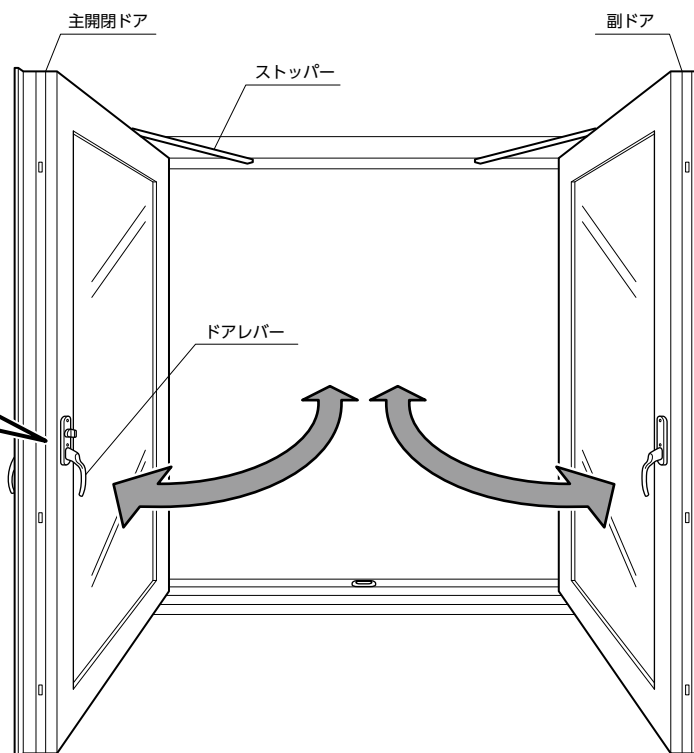
△注意 取り付けにあたってのご注意事項

- ・製品は重量がありますので運搬は 2 人以上で行ってください。
- ・ドア枠及び障子枠は、塗料の使用説明書に従って適切な下地処理を行い、塗装を行ってください。
- ・商品到着後、速やかに梱包状態の確認を行ってください。万一、梱包に破損・汚損がある場合はその場で配送業者にお伝え下さい。
- ・製品に不具合等（欠品・破損・汚損・故障）の異常が見られる場合は施工前に販売元までご連絡ください。**施工後に不具合を発見しても返品・交換は対応しかねる場合があります**のでご了承ください。
- ・工事期間中はガラス面を養生してください。
- ・養生テープは木口面に貼り付け、ドア表面には貼らないでください。表面剥がれやノリ残りのおそれがあります。

テラスドア／フレンチドアの開閉操作について



ドアレバーが途中の
位置では絶対にドア
を開閉しないでくだ
さい
(破損や故障のおそれ)



ドアの開閉のしかた

- ①サムターン（内側）またはキー（外側）を回して
解錠します
- ②ドアレバーを水平の位置に回して開閉します

※ドアは最大約 90°まで開きます

※途中、任意の位置でドアを固定することもできます

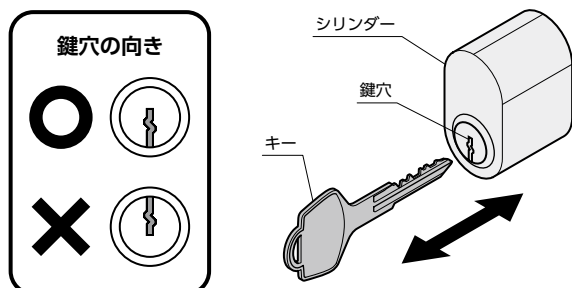
取り付け作業前の準備

●シリンダーの取り付け（別梱包の場合のみ作業します）

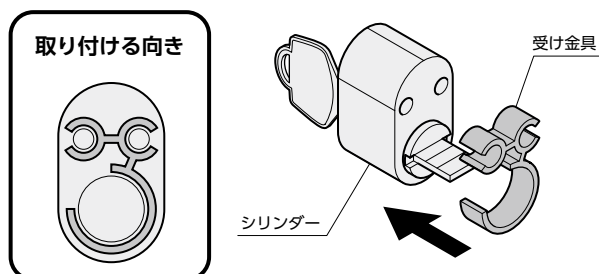
①シリンダーの鍵穴の向きを確認します

②キーを鍵穴に抜き差しできることを確認します

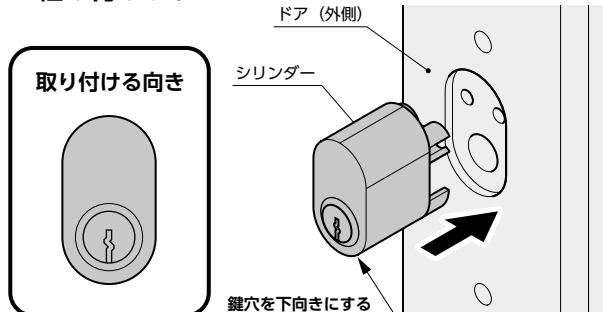
※鍵穴の向きが違くと抜き差しできません



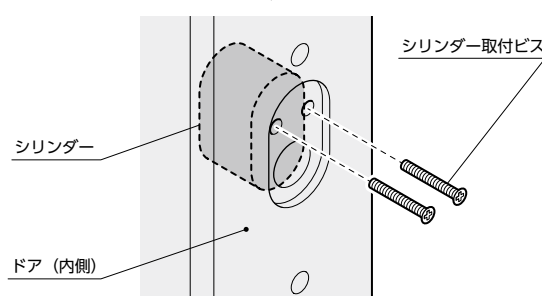
③シリンダーに受け金具を組み付けます



④シリンダーをドア外側のシリンダー取付部に組み付けます



⑤ドア内側からシリンダー取付ビス（2本）でシリンダーをドアに固定します



取り付け作業前の準備

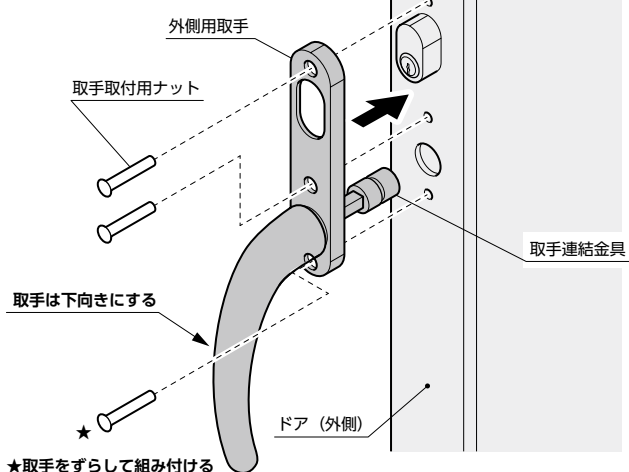
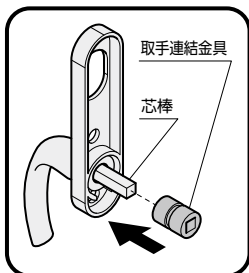
●レバーハンドルの取り付け（別梱包の場合のみ作業します）

外側用取手の取り付け

①取手連結金具を芯棒に組み付けます

②取手を下向きにして、外側用取手をドア外側に組み付けます

③取手取付用ナット（3本）と共にドアに組み付けます

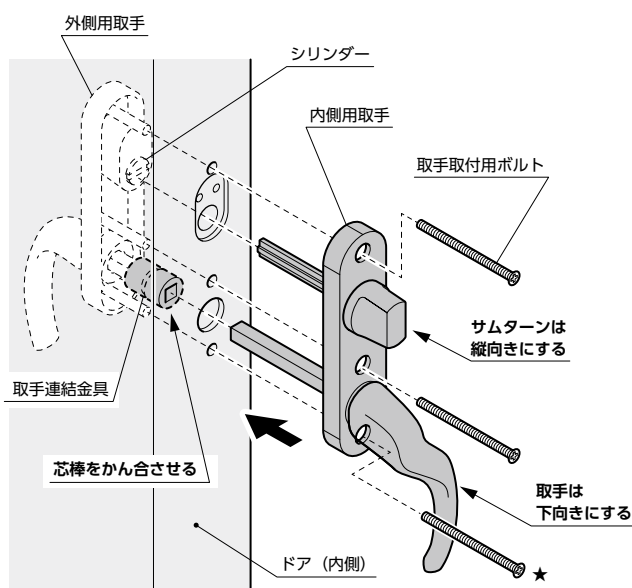


★取手をずらして組み付ける

内側用取手の取り付け

④取手を下向きにして、外側用取手をドア内側に組み付けます

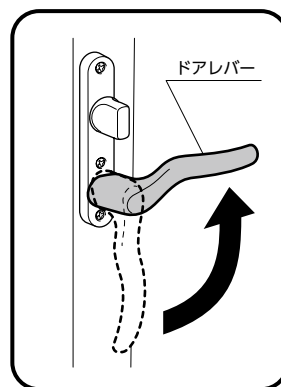
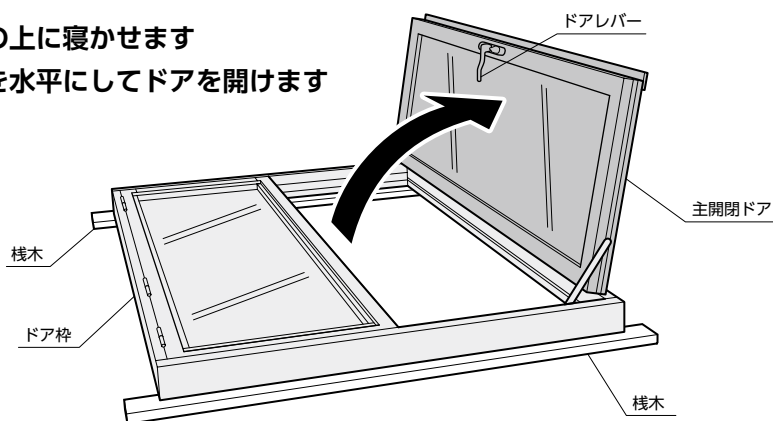
⑤取手取付用ボルト（3本）でドアに固定します



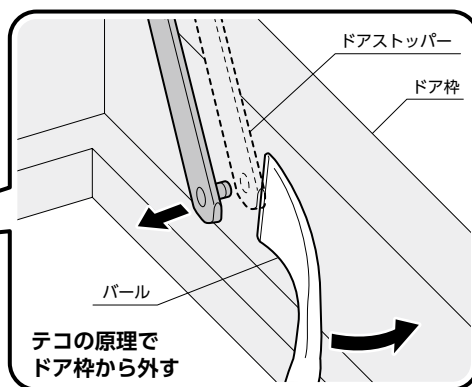
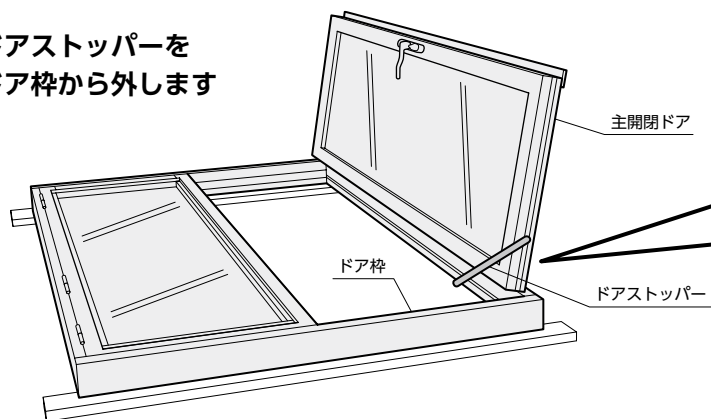
★取手をずらして締め付ける

●ドアの取り外し

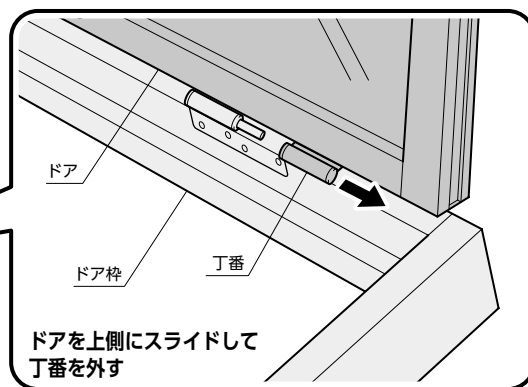
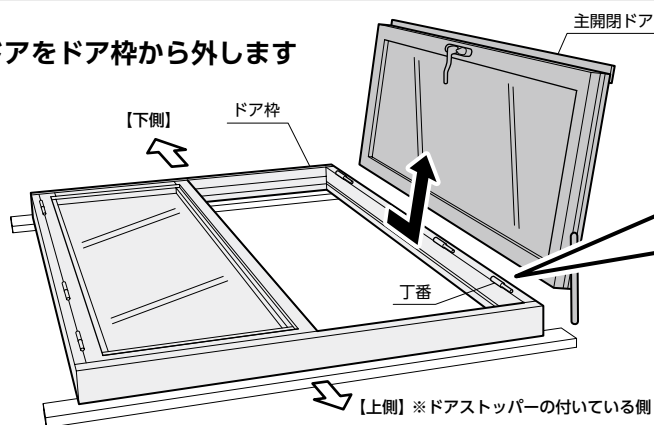
- ① ドアを栈木の上に寝かせます
- ② ドアレバーを水平にしてドアを開けます



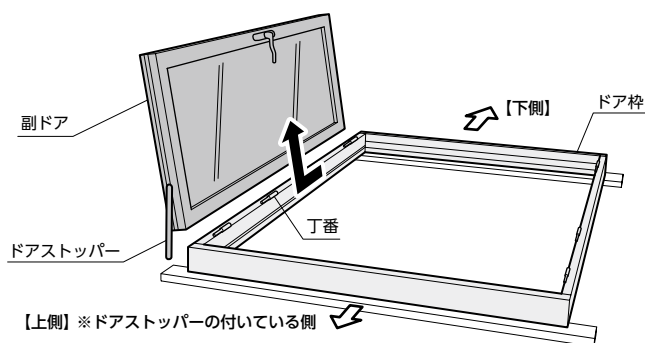
- ③ ドアストッパーを
ドア枠から外します



- ④ ドアをドア枠から外します



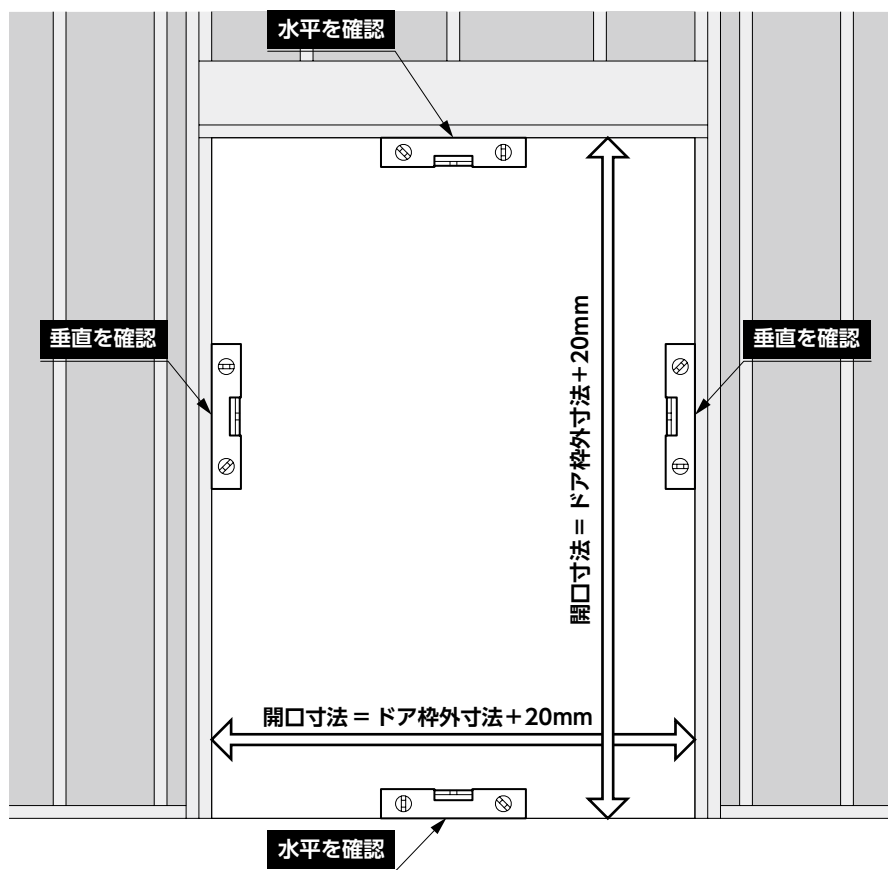
- ⑤ フレンチドアの場合は、副ドアをドア枠から外します



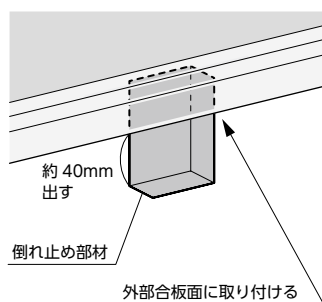
●取り付け位置の確認と部材の取り付け

取り付ける位置の確認

- ①開口部の寸法を確認します
ドア枠外寸法+20mm
- ②開口部の水平・垂直を確認
します

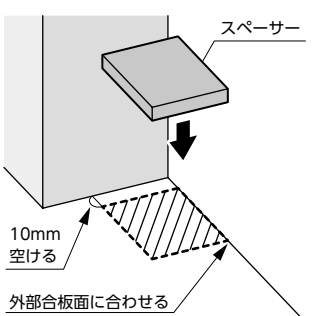


倒れ止め部材の取り付け

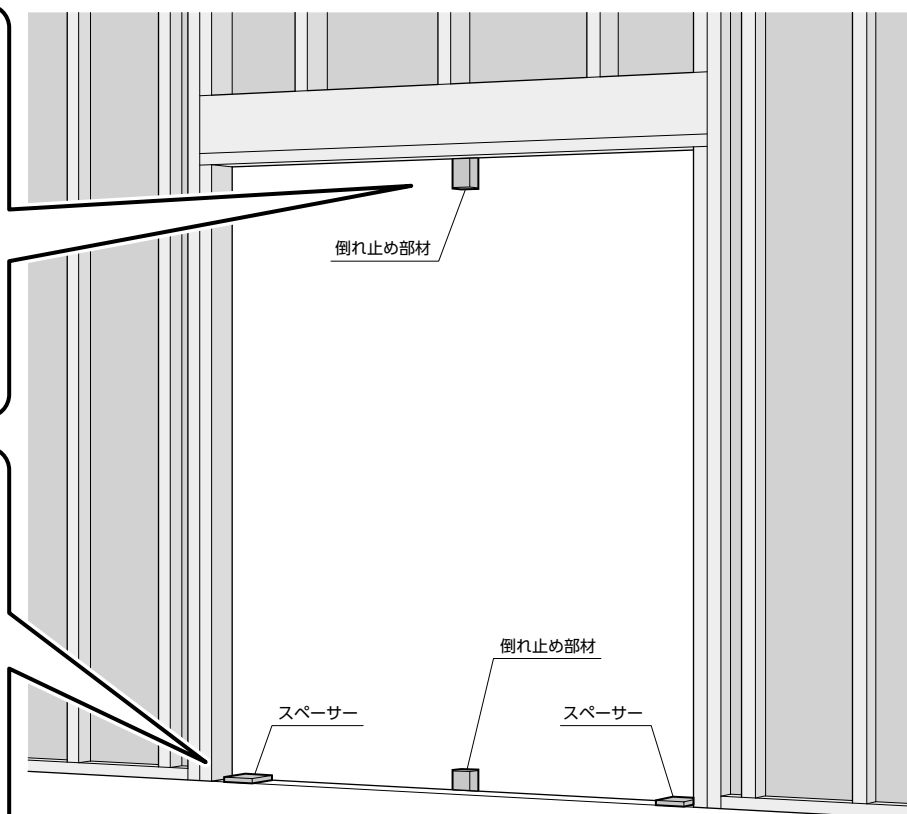


同様に下側にも取り付ける

スペーサーの取り付け



同様に反対側にも取り付ける

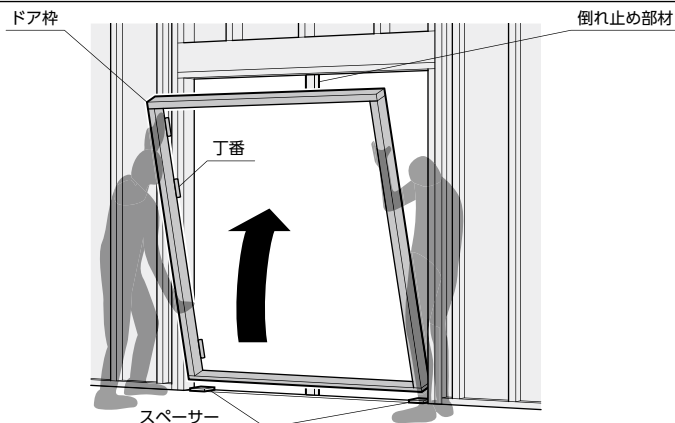


③倒れ止め部材とスペーサーを開口部に取り付けます

ドア枠の取り付け

① ドア枠を開口部に取り付けます

※ ドア枠の丁番がついている方が
外側になります。



ドア枠の位置合わせ

② ドア枠の前後を外部合板面に合わせて 位置決めします※

※ ドア枠の前後の位置は外部合板面に合わせる
のが基本ですが、現場担当者との打ち合わせ
により決定してください。

③ ドア枠と開口部との隙間が 10mm に なるように左右の位置を調整します

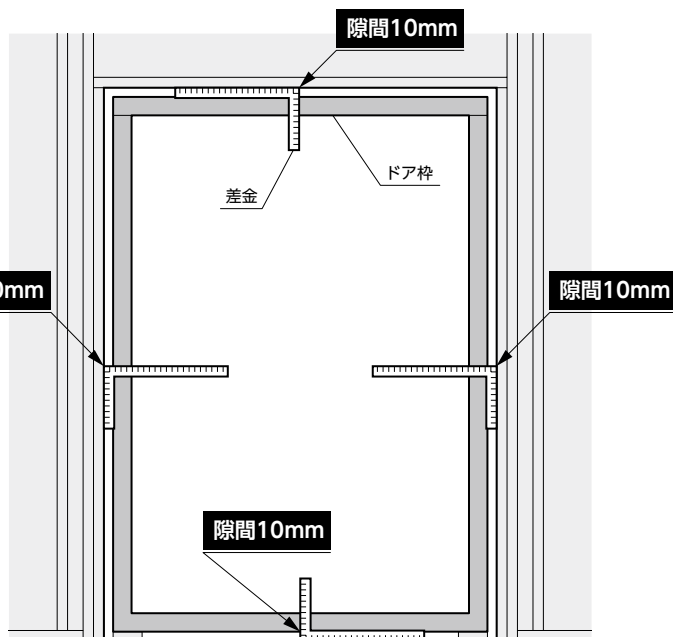
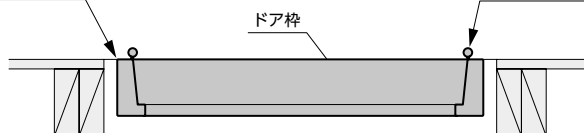


ドア枠と開口部の隙間にはクサビ
や合板等を絶対に挟み込まないで
ください。
またドア枠を柱等にじかに取り付
けることも絶対にしないでくださ
い。窓枠の建て付け調整ができな
くなります。

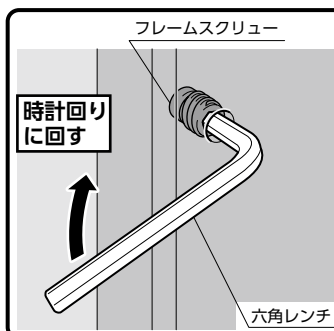
外部合板面に合わせる※

断面図

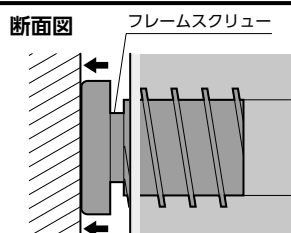
丁番は外側向き



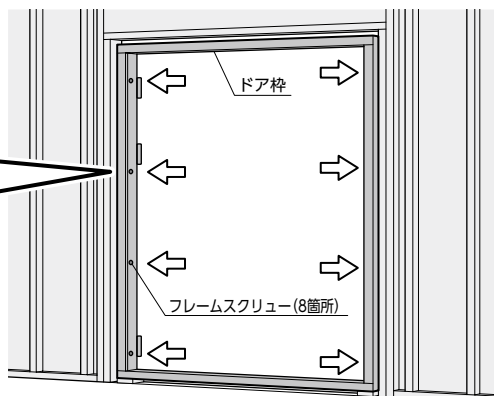
④ フレームスクリュー (8箇所) を繰り出してドア枠を仮固定します



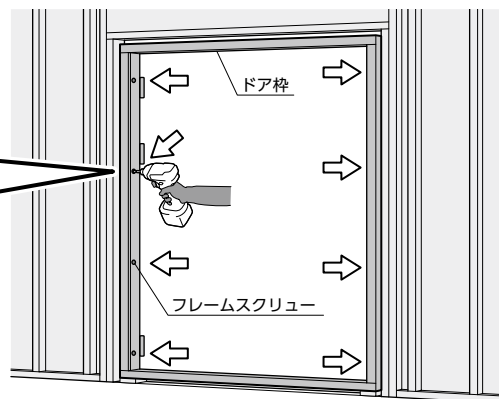
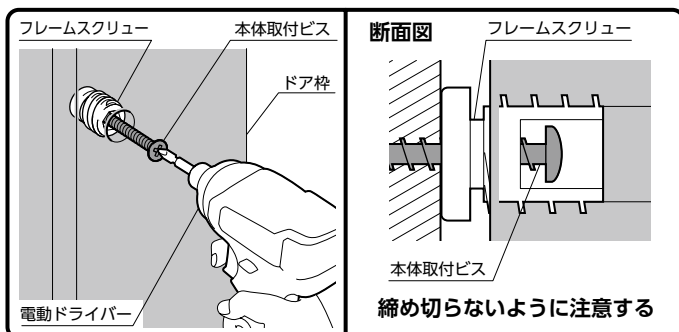
断面図



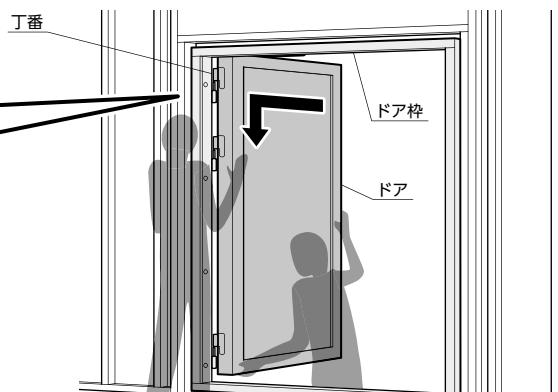
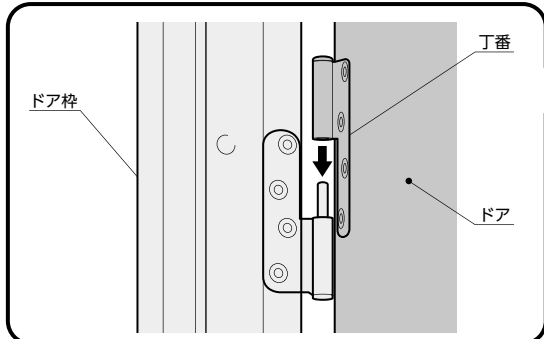
躯体に当たる程度に繰り出す
※ 繰り出しすぎるとドア枠がゆがむおそれ



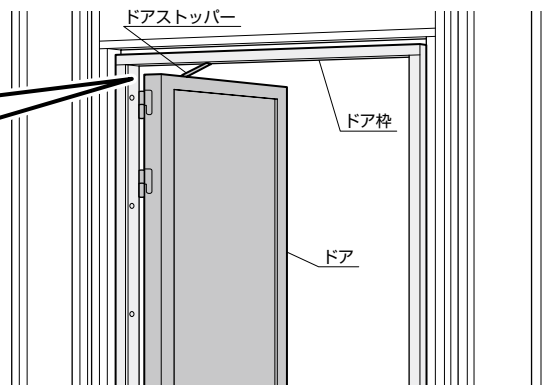
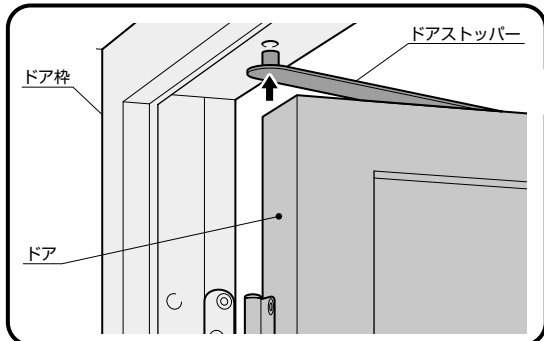
⑤ ドア枠を本体取付ビスで仮固定します



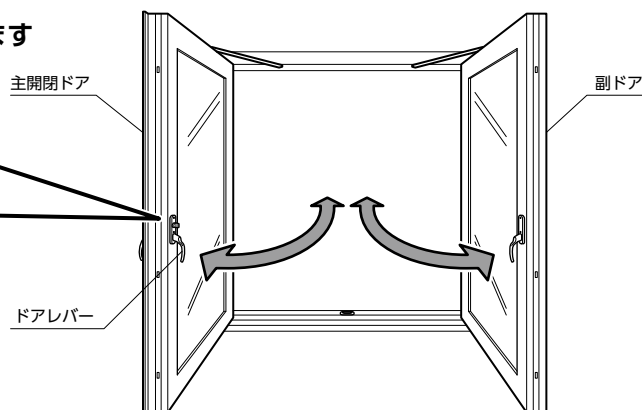
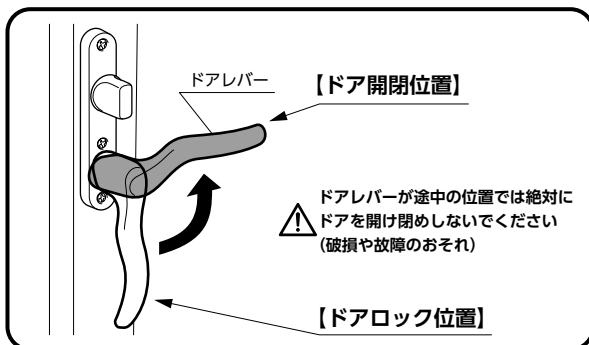
⑥ ドアをドア枠に取り付けます



⑦ ドアストッパーをドア枠に取り付けます

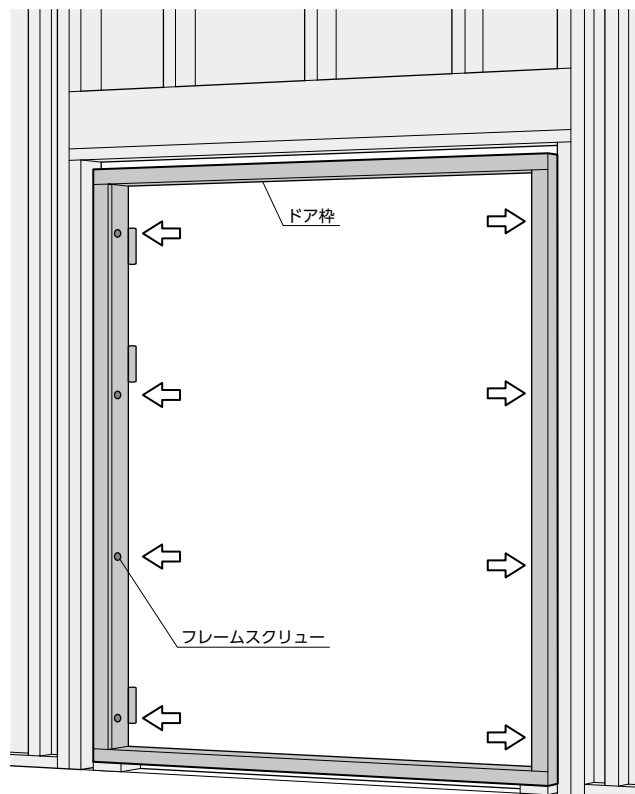
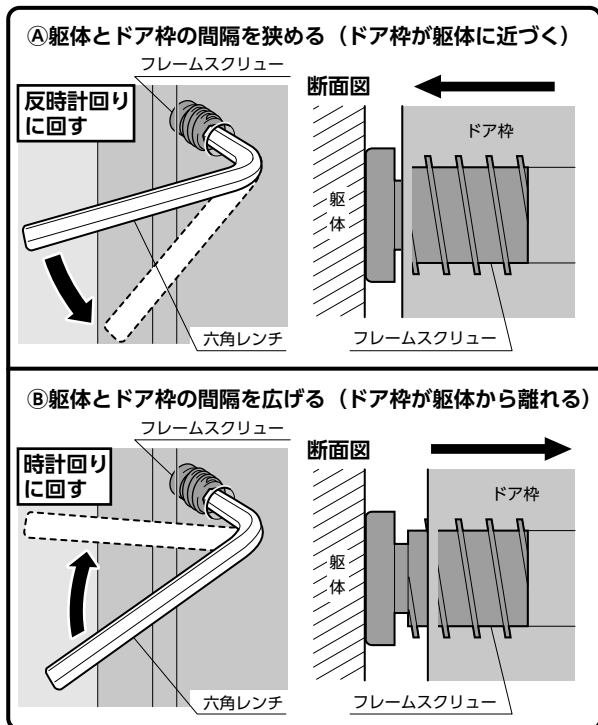


⑧ ドアを開閉して、スムーズに動作するか確認します



建て付けの調整

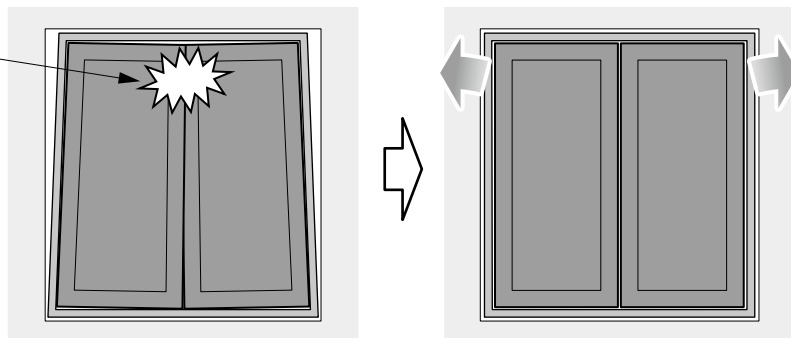
- ⑨ ドアがスムーズに開閉しない場合は下記に従ってフレームスクリューの繰り出し量を調整してドア枠の建て付けを調整します



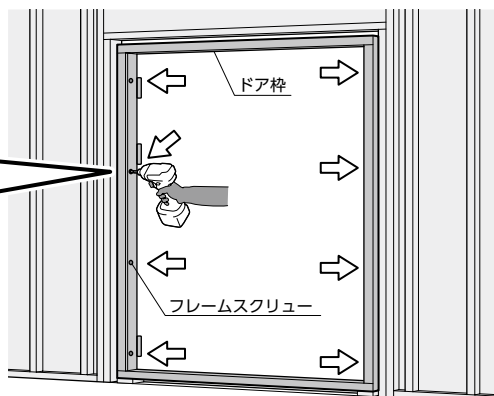
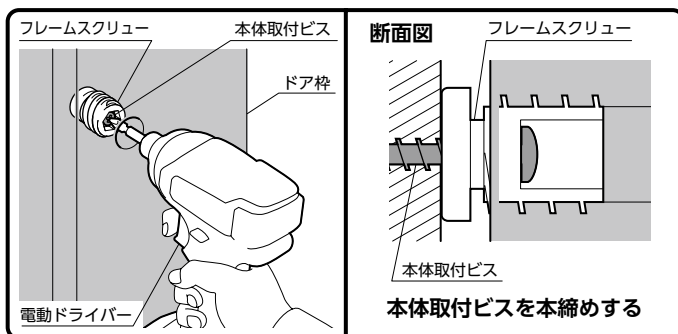
ドアの戸先が当たる場合

ドア枠と躯体との間隔が狭くなるようにフレームスクリューの繰り出し量を調整してください

また、一部のフレームスクリューのみを調整するとドア枠が歪むため、ドア枠と躯体の隙間が均一になるように全体的にフレームスクリューを調整してください

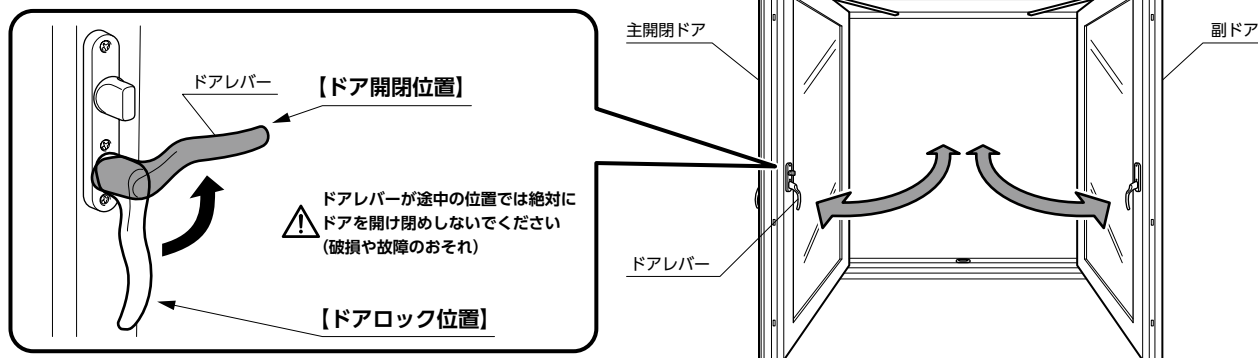


- ⑩ ドア枠を本体取付ビスでしっかりと固定します

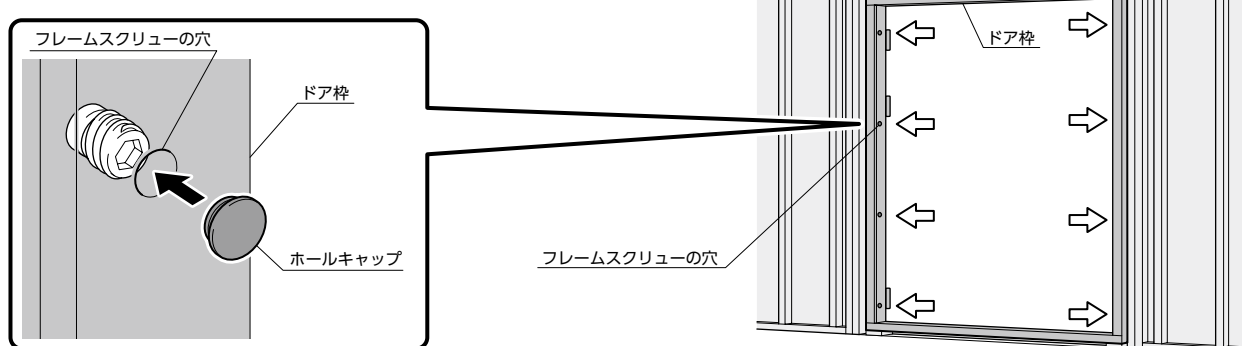


※イラストはフレンチドア（左側主可動）を示します。

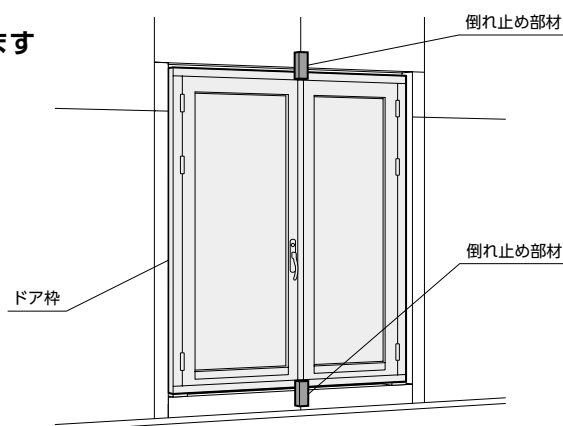
⑪ ドアを開閉して、スムーズに動作するかももう一度確認します



⑫ ホールキャップをフレームスクリューの穴に取り付けます



⑬ 倒れ止め部材を取り外します



以上でドアの取り付け作業は終了です。

このあと現場担当者と打ち合わせの上、断熱処理・防水処理を行ってください。

ドア枠および障子枠は、塗料の使用説明書に従って適切な下地処理を行い、塗装を行ってください。

ドア枠と開口部の隙間にはクサビや合板等を絶対に挟み込まないでください。
ドア枠の建て付け調整ができなくなります。

メンテナンスについて

●ドアが敷居に擦れる場合

ドアが敷居に擦れて動きが悪い場合は、丁番を調整することでドアの高さ調整ができますので、下記の要領でドアの高さを変更してください。

調整に必要な工具など

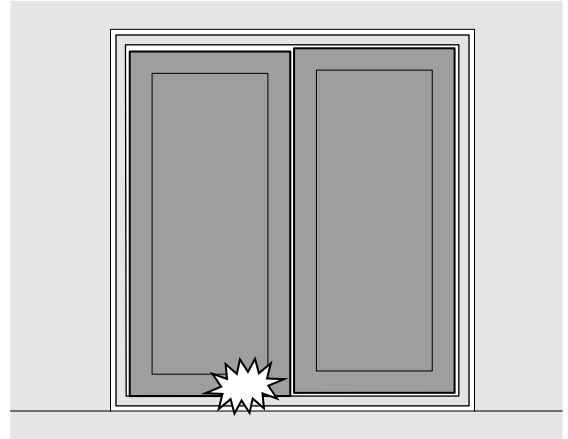
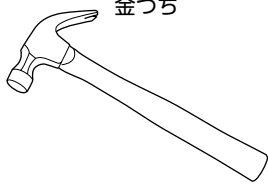
ラチェットハンドル



星型ビット (T15) または 六角ビット (6mm)



金づち

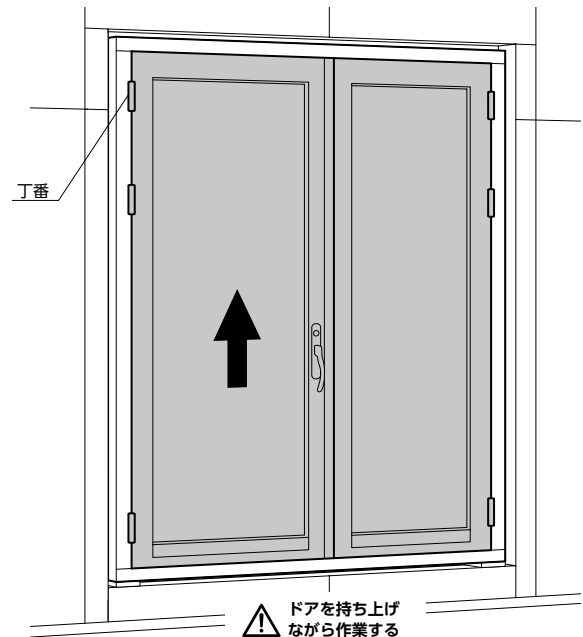
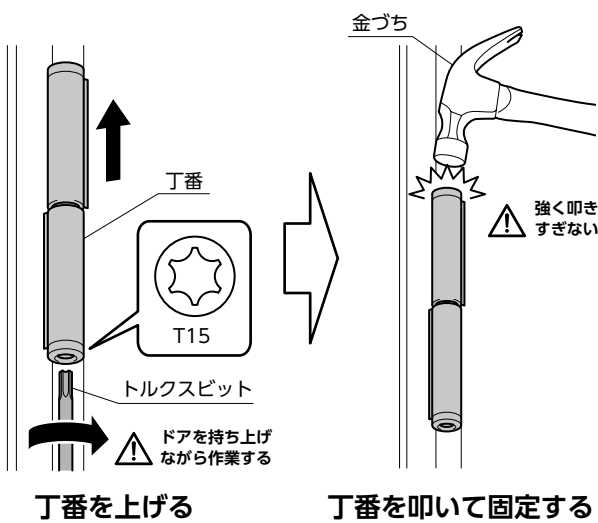


丁番の高さ調整

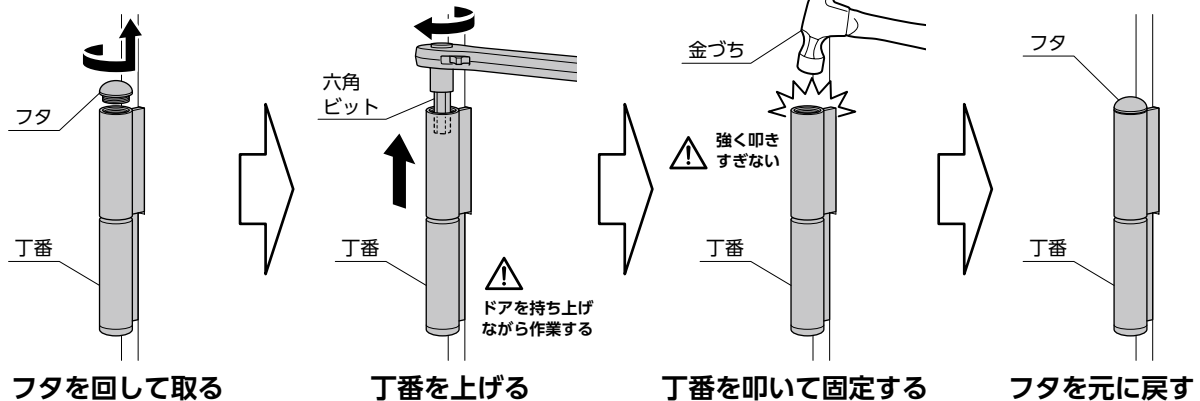
- ① ドアが下枠に擦れる (当たる) 場合は、丁番の高さを調整してドアの高さを調整します
ドアに付いているすべての丁番を調整します (年式により丁番のタイプが異なります)

△ 注意 丁番の調整時、ドアの荷重で丁番の芯棒が下へ抜ける場合があります。丁番に荷重が掛からないように、調整するときはドアを持ち上げながら行ってください。

丁番Aタイプ (下側から調整するタイプ)



丁番Bタイプ (上側から調整するタイプ)



※イラストはフレンチドア (左側主可動) を示します。

●ドアの戸先側が擦れる場合

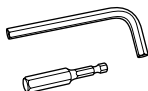
ドアの戸先側がドア枠やドアに擦れる場合は、ドア枠が内側に寄っていることが考えられます。ドア枠を建物躯体側に引っ張ることで改善します。

調整に必要な工具など

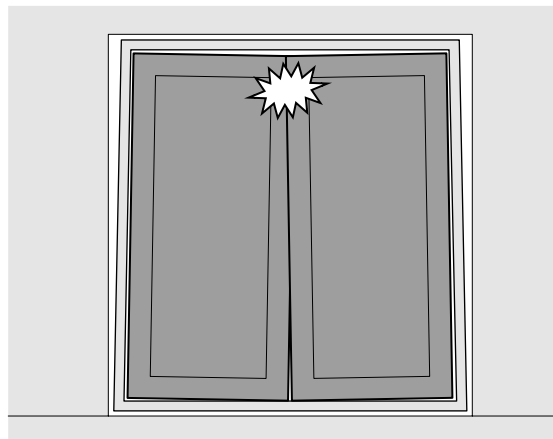
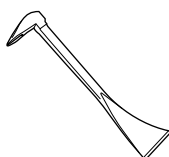
電動ドライバー



六角レンチ
または
六角ビット (10mm)



パール

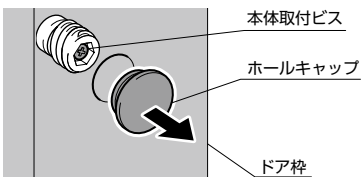


① ドアの戸先が擦れる場合は、ドア枠と躯体との間隔が狭くなるようにフレームスクリューの繰り出し量を調整します

※ 一部のフレームスクリューのみを調整するとドア枠が歪むため、隙間が均一になるように全体的にフレームスクリューを調整してください。

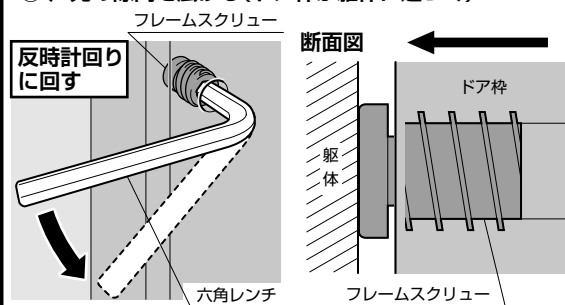
① ホールキャップをドア枠から外す

② 本体取付ビスを緩める

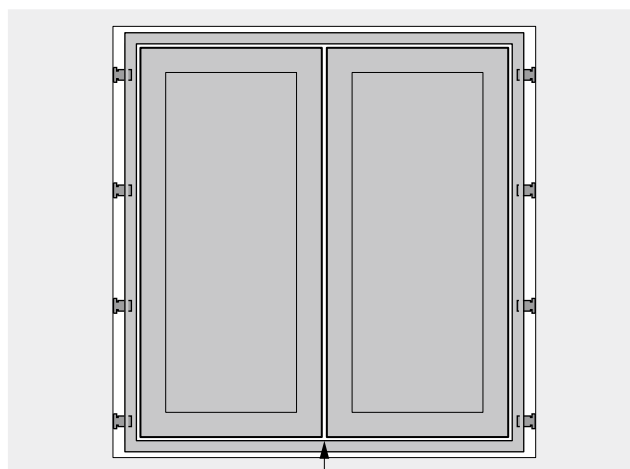
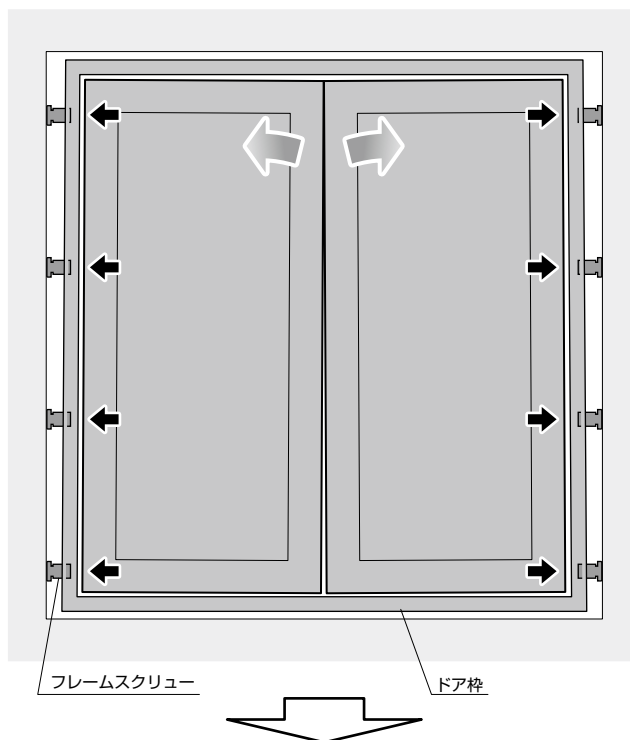
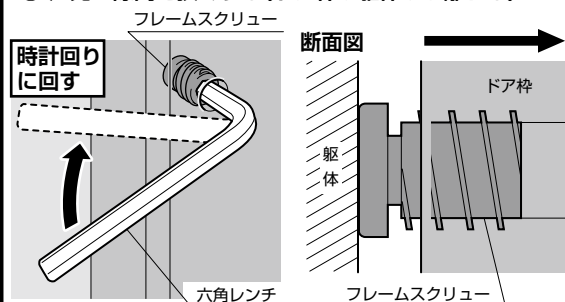


③ フレームスクリューの繰り出し量の調整

③A 戸先の隙間を広げる(ドア枠が躯体に近づく)



③B 戸先の隙間を狭くする(ドア枠が躯体から離れる)



隙間が均一になるように調整する
(フレンチドアの場合はドアを少し開けて隙間を確認する)

④ 調整後、本体取付ビスを本締めしてホールキャップを元に戻す

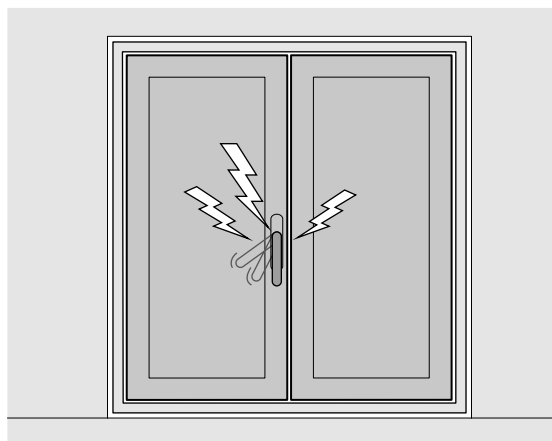
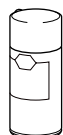
※イラストはフレンチドア(左側主可動)を示します。

●ドアレバーの動きが悪いとき(1)

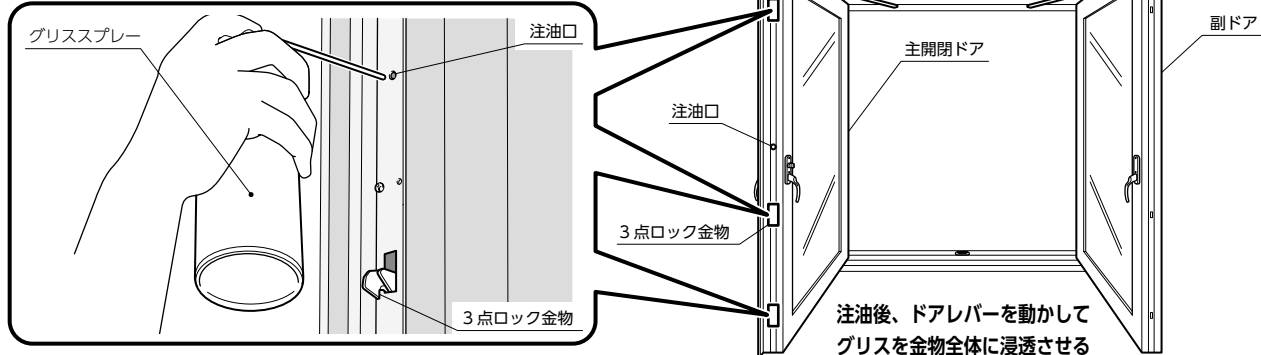
ドアレバーの動きが悪いときは 3 点ロック金物の摺動部の油分が少なくなっています。下記に従い、油分を補給してください。

調整に必要な工具など

グリスプレー



① 3点ロック金物の隙間および注油口からグリスを注油します

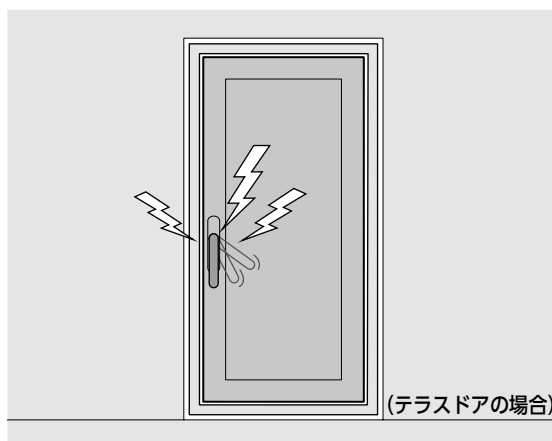


●ドアレバーの動きが悪いとき(2)

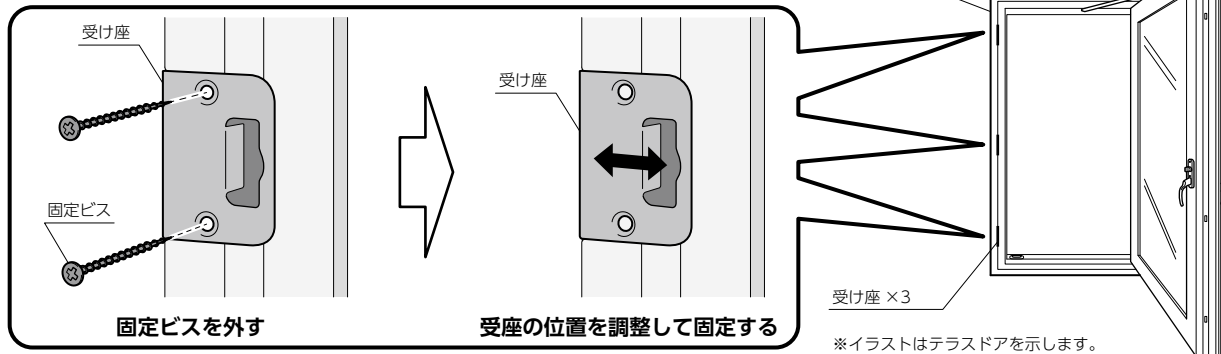
テラスドアの場合は、3 点ロック金物の受け座の位置調整をすることでもドアレバーの動きを改善できます。

調整に必要な工具など

電動ドライバー



① 3点ロック金物の受け座の位置を調整します



●ドアレバーの動きが悪いとき(3)

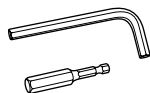
3点ロック金物と受け座の隙間が開いてロック金物が掛かりにくくなっている場合は、「フレームスクリューの繰り出し量の調整」に従って隙間を調整してください。

調整に必要な工具など

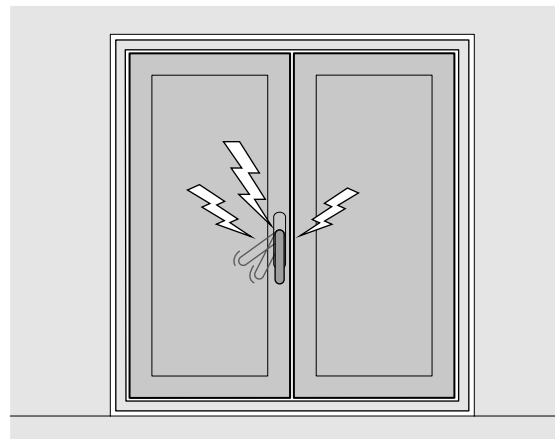
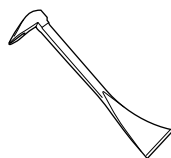
電動ドライバー



六角レンチ
または
六角ビット (10mm)



パール

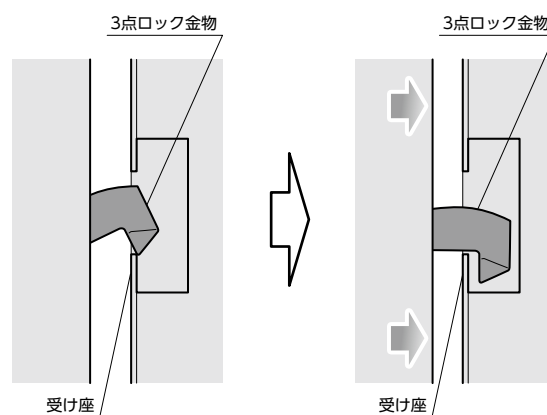
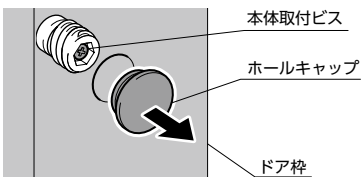


① 3点ロック金物と受け座の隙間が大きくてロックが掛かりにくい場合は、フレームスクリューの繰り出し量を調整して隙間を小さくします

※ 一部のフレームスクリューのみを調整するとドア枠が歪むため、隙間が均一になるように全体的にフレームスクリューを調整してください。

1 ホールキャップをドア枠から外す

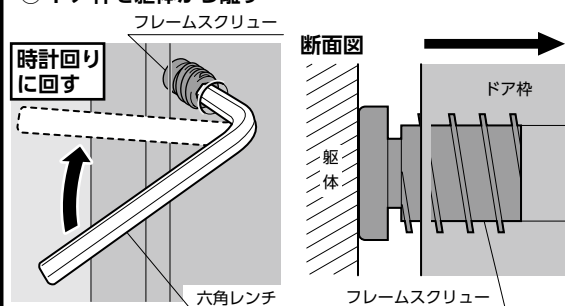
2 本体取付ビスを緩める



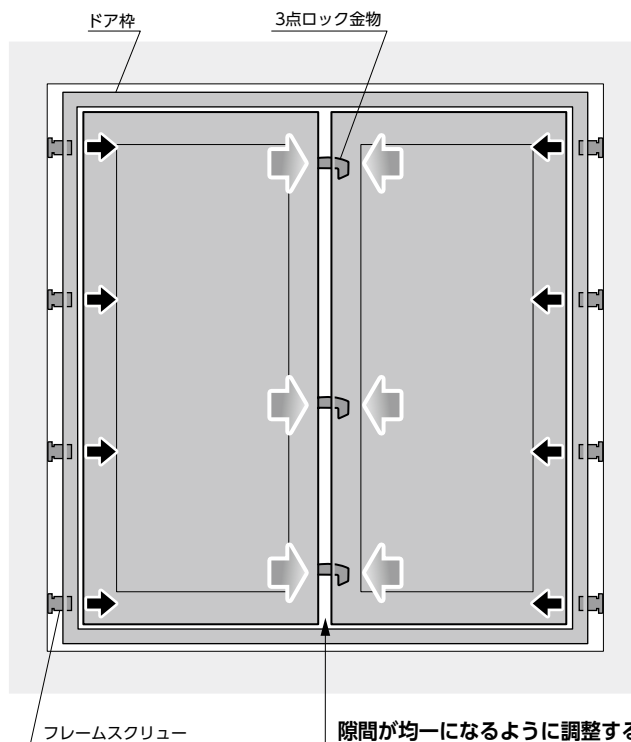
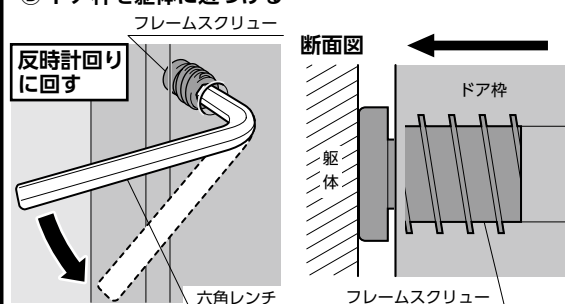
3点ロック金物と受け座を近づける

③ フレームスクリューの繰り出し量の調整

① ドア枠を躯体から離す



② ドア枠を躯体に近づける



隙間が均一になるように調整する
(フレンチドアの場合はドアを少し開けて隙間を確認する)

④ 調整後、本体取付ビスを本締めしてホールキャップを元に戻す

※イラストはフレンチドア (左側主可動) を示します。

●開閉時、ドア上部から異音がするとき

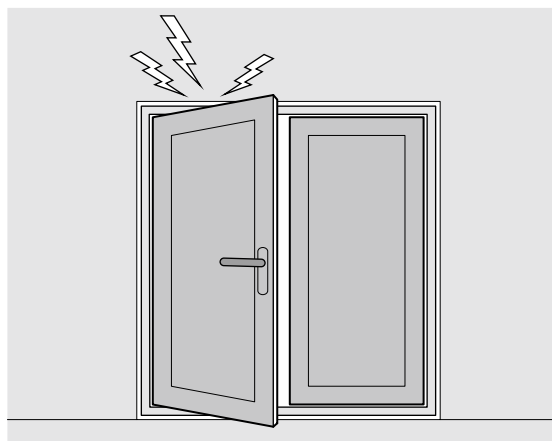
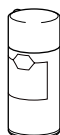
開閉時にドアの上部から異音がするときは、ドアストッパーに異物が挟まっている場合があります。下記に従って異物を取り除き、油分を補給してください。

調整に必要な工具など

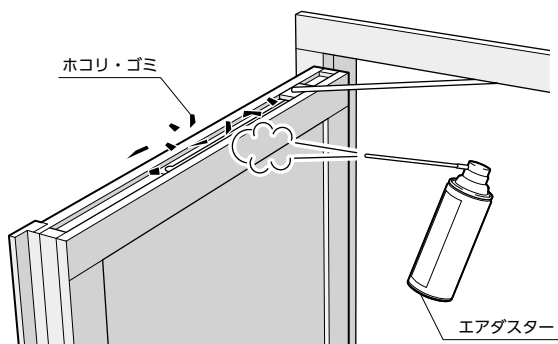
エアダスター



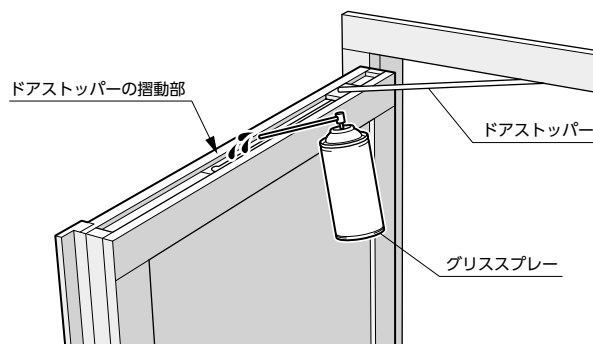
グリススプレー



① ドア上部のホコリ・ゴミをエアで取り除きます

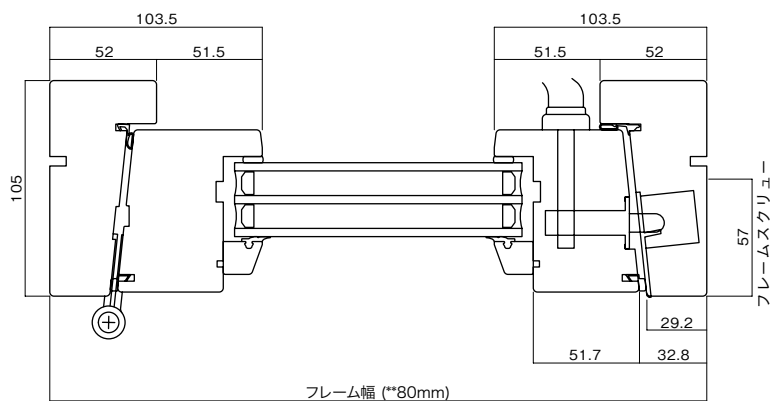


② ドアストッパーの摺動部にグリスを注油します

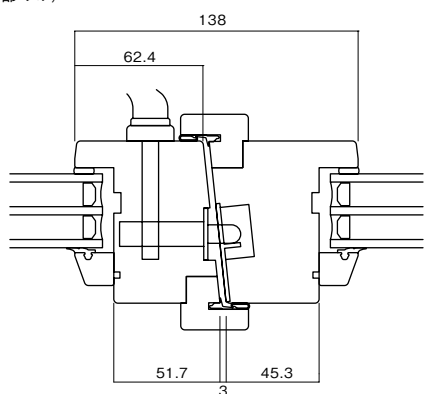


鉛直断面図

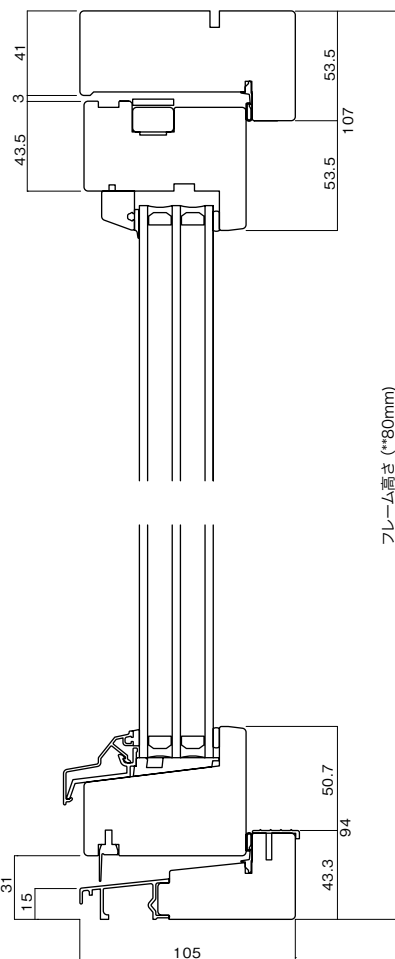
テラスドア



フレンチドア（中央部のみ）



(单位:mm)



レノホンダアウトライン フレンチドア／テラスドア 仕様

開口幅 (製品により異なる)	800 または 1,500mm (枠外幅 780mm または 1,480mm)	塗 装	なし (必ず現場にて塗装が必要です)
開口高さ (製品により異なる)	1,900 または 2,100mm (枠外高 1,880mm または 2,080mm)	断熱性能	H-6 等級 (※ SP 基準値を JIS 基準値に置き換えたものです) 熱貫流率: 1.0W/m²K
枠見込み	105mm	気密性能	A-4 等級 0.2m³/hm³ (10Pa) / 0.4m³/hm³ (100Pa)
材 質	欧州赤松集成材 (防霉真空加圧注入加工済み)	水密性能	W-4 等級 圧力差: 350Pa
ガラス	3層スーパーエナジープラスガラス標準(ダブルLow-E+ダブルアルゴン) 4mm (Low-E)+12mm (アルゴン)+4mm+12mm (アルゴン)+4mm (Low-E)=36mm	耐風圧性能	S-6 等級 最大加圧圧力: 2800Pa
取 手	アルミ製HOPPEハンドル(Tokyoデザイン)+シリンダー標準(カギ3本付) ※ハンドル操作で任意の位置でドアの固定が可能です。 LDF20フレンチドアは、ハンドルでフランス落しの操作が可能です。	遮音性能	T-2 等級 32dB (100 ~ 2500Hz の平均値)

